

	課題（児童の実態、学習状況、指導の実態）	改善プラン（課題の改善プラン、具体的な手だて）
国語	- 漢字の習熟度が低い。また漢字学習に対する意欲も低い。 - 自分の思いや考えを表すことに対して苦手意識をもつ児童が多い。 - 獲得語彙が少なく、文章内容を読み取ることが苦手な児童もいる。	- 漢字に関しては、テストを繰り返し行い、習熟を図るとともに、日頃から文章を書くときに習った感じは使う指導を行う。 - 朝のスピーチ等で「はじめ、中、終わり」に気を付けて話したり、質問や感想を言ったりする活動を意識して設定する。 - 国語辞典を活用し、随時分からない言葉を調べるなど、継続した指導を行う。
社会	- 地域や小平市への関心が高まっている。 - 資料を読み取る力に個人差が見られる。	- 学習内容を身近な生活につなげながら、さらに意欲的に取り組めるように指導する。 - 資料を読み取ったり、資料から考え交流したりする活動を多く設定する。
算数	5展開の習熟別指導を行っている。 - 計算や単位換算など習熟に個人差があり、既習事項の定着に課題がある児童が少なくない。 - 自分の考えをノートに表現したり、分かりやすく説明したりできる児童が増えてきたが、苦手とする児童も多い。	5展開を単元ごとのレディネステストをもとに習熟度別に行い、個人差に対応しながら学習を進めていく。 - 既習事項の定着度を確認すると同時に、ドリル学習などで反復して習熟させる。 - 自分の考えをかいたり、友達の発表を聞いたり、説明したりする活動を取り入れた授業展開を日頃から努める。
理科	- 観察や実験に積極的に取り組む児童が多い。 - 観察や実験から分かったことなどを自分で考えて、文章で表現することが難しい児童もいる。	興味や関心を高める指導の工夫を継続するとともに、実験や観察の結果を予想と照らし合わせて考察できるように学習を積み上げていく。
体育	- 運動することが好きな児童は多く、意欲的に学習に取り組んだり、友達と協力したりできる児童が多い。 - 体力面や技能面で個人差がある。 - 体感のなさや体力低下が目立つ。	- 授業の流れと「めあて」を明確に児童に意識させることで課題解決学習の質の向上を図る。 - 体づくり運動を中心に多くの体の動きを体験させる。 - 体育集会や体育的行事に積極的に取り組ませることで運動意欲を自発的に高めていく素地を作る。

道徳	・登場人物の気持ちやこれからの生き方につながる自分の考えをワークシートに書いたり発言したりすることができる児童が多い。 ・道徳の授業で考えたことを生活の中で実践できていないことがある。	・自分の考えを見つめられるように、子どもたちが自分のこととして考えられる言葉かけをしていく。 ・常に道徳の授業と日常生活を結び付けて考えていくことを大切に指導していく。
外国語活動	・外国語に興味があり、多くの児童が抵抗なく英語を話したりジェスチャーをしたりすることができるが、発声練習をする時は、恥ずかしさのあまり、声が小さくなる児童もいる。 ・楽しく活動できているが、めあてをより意識させて活動させていきたい。	・上手に発音できたり、大きなジェスチャーで表現できたりした児童を褒めながら、今後も子どもたちの意欲を維持できるようにしていく。 ・「めあて」を明確にし、そのめあてに向かって活動したり振り返りをしたりできるようにしていく。

☆各学期の評価 ◎達成できた ○おおむね達成できた ◦課題がある △課題が多い